

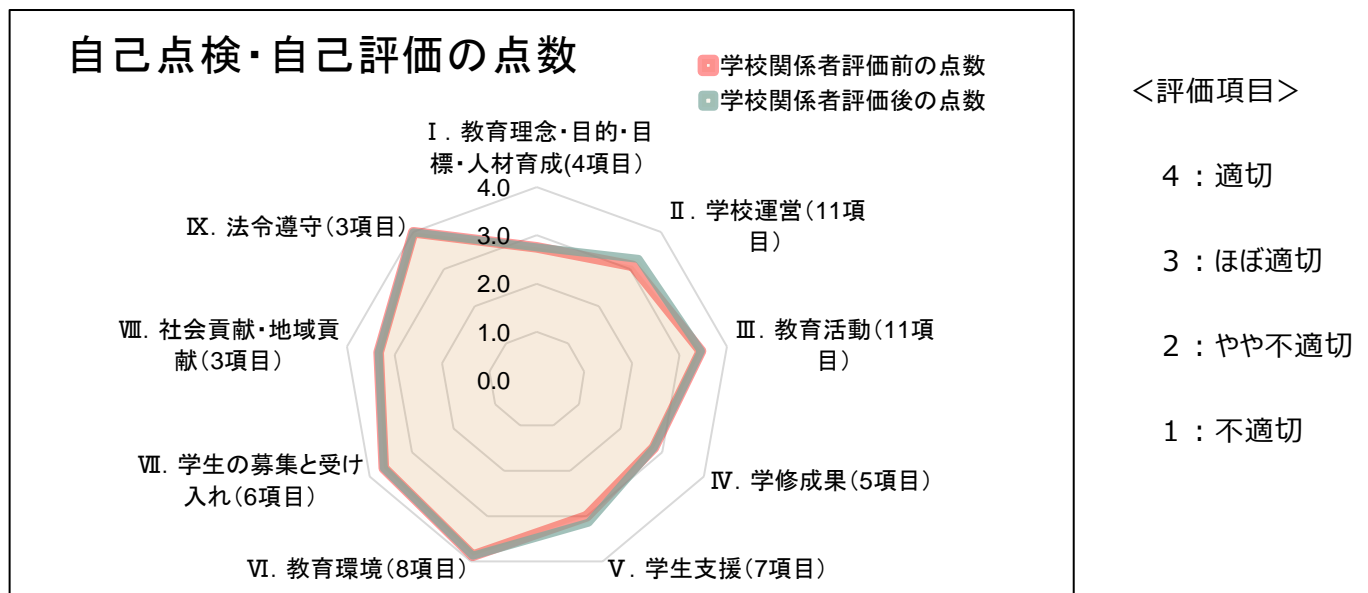
2020 (令和 2) 年度 学校評価



富士吉田市立看護専門学校

本校は、看護に必要な基礎的能力及び態度を修得し、心豊かな人間性を見識を養い、地域や社会に貢献できる人材を育成しています。また、学則第 32 条に基づき教育の充実を図り学校の目的及び社会的使命を達成するため学校における教育活動の状況について自ら点検及び評価しています。なお、本校における学校評価は、自己点検・自己評価及び、評価委員による学校関係者評価を含めたものです。

【2020 年度 自己点検・自己評価（9 領域・59 項目）】



次は、2020（令和 2）年度の重点目標に沿った評価である

【重点目標 1】 2021 年度の入学定員を 90% 以上確保する

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防策（時間短縮・人数制限など）を講じながら、本校の概要や教育活動など PR 活動を行った。その内容と結果は以下である。

- オープンキャンパスを開催した(59 名参加)
- ミニオープンキャンパスを開催した(6 名参加)
- トワイライトオープンキャンパスを導入した(3 名参加)
- 保護者を対象に進路相談会を開催した
- 山梨県内 26 校を対象に高校訪問を行った
- 業者の進路相談会に参加した(4 件)
- 業者の模擬授業・職業講和に参加した(2 件)
- ホームページの更新(96 回)
- 公式 SNS を開設し情報を発信した
- 地元テレビ局と番組を制作した(9 回)

これらの活動により、2021 年度入学試験の受験者数 72 名、合格者数 52 名であった。そして、48 名が入学した。従って、2021 年度の入学定員の 96%の確保ができ、目標が達成できた。なお、2020 年度入学生から「地域枠推薦入学試験」を導入した。受験資格の要件を分かりやすい表現に変更し、推薦要件である課外活動の成果を過去のもので可能であることを周知したが、応募はなかった。

【重点目標 2】 学業支援の充実を図り、入学生の 80%以上の卒業率を確保する

感染予防策を講じながら、異学年の交流学習を 4 回実施した。今年度は技術演習や看護過程の展開を上級生が下級生にアドバイスした。その結果、学生アンケートでは「先輩からの指導が役立った」と 90%の回答であった。

新型コロナウイルス感染症の感染予防策のために、4 月 日から月日まで休校とした。休校開始 5 日後からオンデマンド配信による授業を開始し、大きな遅れはなかった。また、1 月から 3 月の期間は、1 年生が午前、2 年生が午後のみ学内での授業と試験を実施した。外部講師の授業は、学外の時間帯にオンデマンド配信にて実施した。オンデマンド配信で実施された授業では、学びの提出や課題を出し学習効果の低下を防いだ。

臨地実習は、実習施設と綿密な調整を行い、時間短縮や人数制限、及び感染予防策の徹底などにより、約 40%実施できた。臨地での実習が困難な実習は、ペーパーパシエントでの看護過程、状況設定下における看護技術の実施、学生及び教職員が患者役や利用者役になりシミュレーションやロールプレイの実施、関係者に来校してもらいカンファレンスの実施、当事者に来校してもらい演習の実施など、試行錯誤しながら学内での実習を行った。また、国や山梨県、看護協会による学習の確保対策補完事業によるタブレットや血圧測定シミュレーターなどにより、学生の学習に役立てることができた。その結果は次である。

- 2018 年度入学生の卒業率は 78.3%である
- 第 110 回看護師国家試験の合格率は 100%（全国 90.4%）であった
- 第 110 回看護師国家試験自己採点による業者の集計では、必須問題 47.5 点（合格基準 40 点以上）、一般・状況設定問題 191.4 点（合格基準 159 点以上）であり、本校の偏差値は 51 であった
- 卒業する 36 名の学生は、山梨県内に 35 名就職（市立病院 16 名 44.4%、富士北麓東部地区 72.2%）、1 名進学（助産専攻）である
- 在籍者 121 名（4 月）のうち退学者 11 名（3 月末）であり退学者率は 9.1%であり例年と同様であった。退学の理由は、「進路変更」「学業不振」「学習意欲の低下」などであった
- 学生満足度調査（12 月）の結果、学校生活全体の満足度は大変満足している 11%・満足している 85%であった

【重点目標 3】 現行カリキュラム運営と評価を行い、カリキュラム質の向上を図る

昨年度、作成したDP（ディプロマポリシー）・CP（カリキュラムポリシー）・AP（アドミッションポリシー）をふまえ、学生便覧の掲載や入学生ガイダンス等で説明し周知した。

第 5 次カリキュラム改正に伴い、新カリキュラムにおける教員会議を定期的に行い、本校の設立趣旨や地域特性をふまえた教育理念・教育目標を検討した。また、科目設定や単位数を検討している。

【重点目標 4】 新型コロナウイルス感染予防策を徹底し蔓延を防ぐ

新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、本校の感染予防策における方針や授業方法の変更、時間割の変更などを適宜、審議しながら行った。また、情報を活用しながら、感染予防策を講じた環境を（教室利用の方法、機器・器材・物品の利用方法など）を整備した。

感染予防策として、有熱者・有訴者などの対応やインターネットを活用した健康チェック方法の導入を行い、体調不良の把握及び感染拡大を未然に防止できるように努めた。保健だよりの発行・掲示、

啓蒙のための学内放送、手指用アルコール剤の調査、教員による YouTube による動画配信などにより、感染予防策の周知が徹底できた。

また、学年による食事時間と場所の調整、黙食を行った。さらに、演習など（グループワーク含む）は場所を変更したり人数を分散させたりしたうえで、フェイスシールド（ゴーグル）やマスクの着用も徹底した。さらに、山梨県の感染防止対策事業により、手指消毒剤などの消耗品やスパンサースタンドを購入でき、感染予防策を徹底できた。その結果、新型コロナウイルス感染症に罹患した者はなかった。

23 期生 卒業式



【その他】 円滑な学校運営を実施する

今年度は、総事業費 約 2 億 1,800 万円で学校を運営した。開校から 25 年が経ち建物や各種機器等の経年劣化が進んでいるため、計画的に施設の修繕や設備の保守に努めている。また、安全で快適な学習環境を目指すため、Wi-Fi 環境の充実、売店運営（委託業者との契約）の継続、教育に必要な備品を購入した。

学校関係者評価、教育活動など、詳細につきましては、ホームページをご覧ください。